

以下は 2022 年 4 月 13 日付けの日本経済新聞社、田村正之氏（編集委員）による記事と図表の引用です。 株価指数に連動する長期分散投資のリスクとリターンを理解する上で重要な参考になるので、日本経済新聞社の承知を得て抜粋引用、掲載致します。

竹中正治

龍谷大学教授

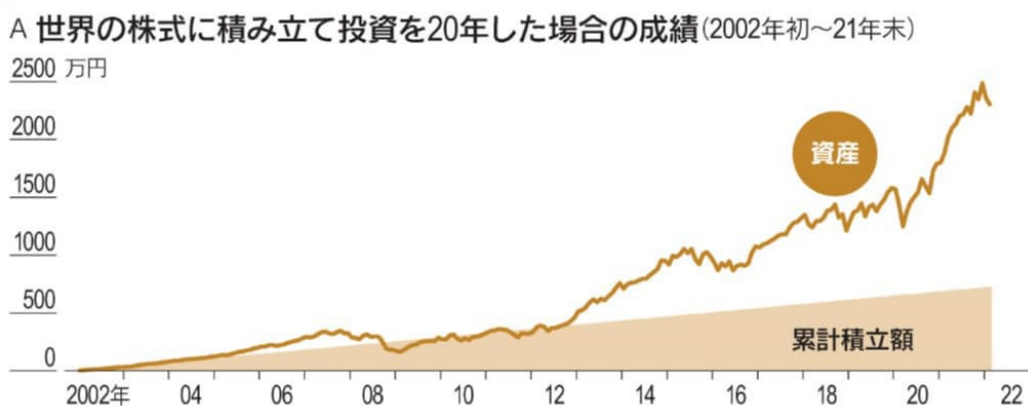
FIWA アドバイザリーボードメンバー

「インフレ・円安への資産防衛 積み立て投資「勝率」96% お金を殖やすツボとドツボ(48)」

編集委員 田村正之 2022/4/13 5:00 日本経済新聞 電子版より図表を引用・掲載

図表 A

日本を含む先進国株価指数(MSCIWORLD、配当込み、円ベース)に連動する投資信託に 2022 年末まで月 3 万円 20 年間積み立て投資した場合の累積積立額と資産時価総額の推移、終期における資産時価総額は約 2500 万円、累計積立額の約 3.5 倍、年率利回り約 11%



図表 B

20 年の積み立ての最終月を 1990 年 1 月以降、1 カ月ずつずらし、20 年間積み立て投資した場合の投資成績

最高リターンのケース:1978 年 8 月~1998 年 7 月、年率 12%強、終期の資産時価総額 3100 万円、累計積立額 720 万円の約 4.3 倍

最低リターンのケース:1989 年 2 月~2009 年 1 月、年利回りほぼ 0%。

全期間の年利回りの平均:7%強、終期における資産時価総額は累計積立額の 2 倍強

年率利回りが 2%を下回った時期の比率:全体の 4%

年率利回りが 4%を上回った時期の比率:全体の 87%

